

国内実態調査報告書

テーマ : 道東地域の地域経済実態調査
ゼミ名 : 鯉淵 賢ゼミ
調査日 : 2019年10月7日(月)～10月10日(木)
調査先 : 阿寒観光協会まちづくり推進機構、摩周湖観光協会、釧路市のビル管理会社
授業科目名 : 演習Ⅳ
参加学生数 : 4名(4年生)

調査の趣旨(目的)

北海道道東地域(釧路・阿寒・弟子屈など)の地域経済における諸課題についての実態調査

調査結果

道東地域はラムサール条約登録地である釧路湿原国立公園、阿寒摩周国立公園、世界自然遺産登録地の知床半島など豊富な観光資源を持つ。同時に、少子高齢化が急速に進行する地域でもある。本調査では、近年地域観光に重要な役割を担う主体として期待されている道東地域の2つのDMO法人(阿寒観光協会まちづくり推進機構、摩周湖観光協会)にインタビュー調査を実施し、道東地域におけるインバウンド観光の現状と広域連携の重要性について知見を得た。また、近年、事業承継M&Aを経験した釧路市のビル管理会社を訪問し、社長から事業承継問題におけるM&Aの有効性についてご教示いただいた。